

南あわじ市民まつり「南あわじ夢祭 2006」は 10 月号でお知らせします。

# 夏のイベント 各地で開催

夏を満喫してもらおうと、花火や盆踊りなど様々なイベントが各地で行われ、多くの人を楽しみました。

## 慶野松原花火大会

日本の快水浴場百選の特選に選ばれた慶野松原海水浴場で7月29日、慶野松原花火大会（同実行委員会主催）が開催されました。2,800 発の花火が夜空を鮮やかに彩り、観光客や家族連れ約15,000 人が光と音の競演を楽しみました。

夕暮からのオープニングでは、はばタンダンスと砂浜の宝探しに多くの子どもたちが参加し、楽しんでいました。和太鼓演奏や高校生によるダンスも披露され、雰囲気を盛り上げました。

午後8時30分からの花火大会では砂浜の家族連れなどから、色とりどりに広がる大輪の花火に歓声があがりました。家族や友人、恋人へのメッセージ花火には10組が応募し、感謝と幸せを願う気持ち披露されました。



▲慶野松原海水浴場で打ち上げられた花火

▲雰囲気を盛り上げた舞台



▲砂の造形づくりに汗を流す参加者



## 全国サンドアートコンテスト

海水浴場の砂で造形を作る「第9回全国サンドアートコンテスト」（同実行委員会主催）が7月30日、阿万海岸海水浴場で行われ、島外からの参加6グループを含む合計18グループ約200人が競技を楽しみました。

参加者はあらかじめ準備された、縦横4m高さ2mの砂盛に、バケツに汲んだ海水をかけて固めながら、スコップとコテを使って、造形を制作していきました。炎天下の作業だけあって水分補給をしたり、海水浴などを楽しんだりしながら制作を進め、約5時間かけて完成。カメやタコ、くじら、淡路人形、はばタンなどの力作が砂浜に並びました（11頁に結果）。



▲元気な掛け声をあげながら福良の街中を回る踊り子たち



▲綿菓子の屋台（倭文ふれあい夏祭り）



▲和太鼓の舞台演奏（みどりどんとこい夜店）

## 倭文ふれあい夏祭り

倭文地区住民の交流を目的とした「第1回倭文ふれあい夏祭り」が8月13日、倭文小学校グラウンドで開催され、住民約800人が手作りの祭りに参加しました。

同地区区長会と老人会、PTA、ボランティア団体などにより、実行委員会を組織して祭りを計画。昼の部では、5集落の住民や各種団体が金魚すくいや綿菓子、焼きそばなどの屋台を運営しました。夕方からは、和太鼓演奏や地元のアマチュアバンドが出演する舞台、阿波踊りなど多彩に繰り広げられました。

## みどりどんとこい夜店

7月28日、「みどりどんとこい夜店」（同実行委員会主催）が緑市民センターで開催されました。浴衣姿の親子連れら約1,200人が詰め掛け、野外特設ステージで行われた和太鼓の演奏や歌謡コンサートなど鑑賞。また餅つきや豪華商品があたるビンゴゲーム大会なども行われました。

この祭りは平成8年から続く恒例行事。実行委員は「毎年楽しみにしてくれている人がいる。今年も多くの笑顔が見られてよかった」と話していました。



▲子どもも網曳きにトライ

▲網曳き前に獅子舞を披露

## 福良夏まつり

「福良夏まつり」（同実行委員会主催）が8月13・14日に福良湾周辺で開催され、大綱曳きと盆踊りが行われました。

東西に分かれて長さ300mの大綱を曳きあう「大綱曳き」では、化粧まわし姿の男衆や地元の住民約1500人が、力水を浴びながら力いっぱい綱を曳きました。東が勝てば豊作、西が勝てば大漁になるといわれています。約5分ほど曳きあい、西が勝利を収め、「大漁」を引き寄せました。

盆踊りには、自治会や愛好者、同級生らで組織する阿波踊りやよさこい踊りの22連が参加。多くの観客が集まる3つの踊り場や街中を練り歩きました。2日間にわたって、まちは人の熱気と賑やかな鐘や太鼓の音に包まれました。



▲掛け声を合わせて力いっぱい綱を曳きます（8月14日、慈眼寺前）